

令和6年度 第1回 さいたま市立館岩少年自然の家運営委員会 会議録

1 開催日時 令和6年10月15日（火）13時30分開会

2 場 所 さいたま市 教育研究所 第2研修室

3 出席者

委員

さいたま市ボーイスカウト協議会理事	宇田川 充
さいたま市PTA協議会常任理事	富田 敏弘
さいたま市PTA協議会常任理事	井山 智子
市民公募	大作 一美
市民公募	小田垣 透
小学校校長会 河合小学校長	宮本 江津子
小学校校長会 浦和大里小学校長	中野 緑
中学校長会 尾間木中学校長	生田 淳子
中学校長会 第二東中学校長	坂東 千里

事務局

館岩少年自然の家所長	伊澤 昌二
館岩少年自然の家所長補佐兼管理係長	西形 和人
館岩少年自然の家主席指導主事兼指導係長	葛西 耕輔
館岩少年自然の家主任指導主事	那須 菜摘女
館岩少年自然の家主任指導主事	吉見 康之
館岩少年自然の家指導主事	佐藤 泉
館岩少年自然の家指導主事	田中 雄真

4 欠席者

小学校校長会 大砂土小学校長	新堀 栄
----------------	------

5 公開・非公開の別 公開

6 傍聴者数 なし

7 次 第

(1) 委嘱状・任命書の交付式

①委嘱状・任命書交付

②さいたま市教育委員会 教育長あいさつ

(2) 第1回 さいたま市立館岩少年自然の家運営委員会

・所長あいさつ

・委員紹介、事務局紹介

【議題】

①委員長・副委員長の選出

②さいたま市立館岩少年自然の家運営委員会関連条例、規則について

③自然の教室活動状況について

④館岩少年自然の家施設設備について

⑤令和6年度自然の教室実施状況について

⑥令和6年度予算について

⑦夏休み親子の集いについて（体験の風）

⑧今後の運営委員会スケジュールについて

8 議事等の概要

【委嘱状・任命書の交付】

○委嘱状及び任命書の交付

○教育長あいさつ

・体験活動の重要性について

・国立青少年教育振興機構「体験の風をおこそう」事業に参加することについて

【所長あいさつ】

所長 ○自然の教室（夏季）実施状況について

○自然の教室（冬季）予定について

○自然の教室の利用の効果について

【委員紹介・事務局紹介等】

西形 ○委員紹介、事務局紹介、欠席委員の報告、資料確認、会議の成立

【協 議】

議題（1） 委員長、副委員長の選出

委員長、副委員長について立候補・推薦発言

○宇田川充委員の委員長立候補。承認。

○事務局案として、副委員長には中野緑委員を提案。承認。

○宇田川充委員長あいさつ

○中野緑副委員長あいさつ

以下、宇田川充委員長が議長として議事進行

議題（２）　さいたま市立館岩少年自然の家運営委員会関連条例、規則について

- 西形　　○資料①「さいたま市立館岩少年自然の家条例」の説明
 ○資料②「さいたま市立館岩少年自然の家条例施行規則」の説明
 ○資料③「さいたま市立館岩少年自然の家運営委員会規則」の説明
 ○資料④「さいたま市立館岩少年自然の家附属職員宿舍管理規則」の説明
 〈質疑なし〉
- 大作　　自然の家条例の６条（２）だが、学童や子ども会等でも利用できるのか。
 西形　　今までの例はあまりない。
 大作　　実績はないかもしれないが、利用できる対象なのか。申請することが可能なのか。
 西形　　市内に居住する小・中学生とその保護者であれば問題ないが、小・中学校が来ている時期がほとんどなため、実際は難しい。
 大作　　では利用者の範囲には入っているということか。
 西形　　入っている。
 大作　　実際に学校以外の団体が利用したことはあるのか。
 西形　　少数ではあるが、利用した団体はある。
 所長　　さいたま市に住んでいる小・中学生で、自然体験活動が目的であることが前提である。
 また、小・中学校が自然の教室を実施していない時期であり、且つ、所員等による環境の整備も行っていない時期となると限られてきてしまう。

議題（３）　自然の教室活動状況について

- 葛西　　○資料⑤「自然の教室活動紹介」の説明
 〈質疑〉
- 大作　　熊は出沒するのか。
 所長　　６月に敷地内で出沒した。それ以降、源流探検をいったん中止した。９月の学校までの間、猟友会のパトロールや、所員による敷地内の確認を行った。また、害獣対策として、爆竹や花火も使用する回数を増やした。クマが出ないことを確認して再開した。登山の際にも花火を使用したり、引率教員にも熊避けの鈴を利用してもらったりしながら、活動している。

議題（４）　館岩少年自然の家施設設備について

- 西形　　○資料⑥「施設設備の紹介」の説明
 〈質疑なし〉

議題（５）　令和６年度自然の教室実施状況について

- 那須　　○資料⑦「令和６年度『自然の教室』の実施状況について」の説明
 〈質疑〉
- 小田垣　　３８ページの８０とあるが２０はやっていないのか。
 那須　　パーセンテージではなく学校数である。

議題（６）	令和６年度予算について
-------	-------------

西形 ○資料⑧「さいたま市立館岩少年自然の家 令和６年度予算について」の説明

〈質 疑〉

大作 「活動プログラム及び用具の充実」の内訳はどんなものか。

西形 消耗品の購入がほとんどである。

大作 自然の教室の補助金とはなにか。

西形 自然の教室の実施委員会という任意団体とバス会社で契約をし、その実施委員会にバス代の補助を支出している。

大作 支出の詳細を載せたり、説明を加えたりしたほうがよいのではないか。

西形 施設の維持管理については、４０００万円くらいが、建物の管理の委託料、浄化槽の維持管理に１０００万くらい。光熱費で５０００万円くらい。他、公用車、所員宿舍での出費となっている。野外活動費については、消耗品関係、バス輸送費の補助、現地研修会については教員の貸し切りバス代での支出である。詳しい書面での説明でなく申し訳ない。

議題（７）	夏休み親子の集いについて（体験の風）
-------	--------------------

那須 ○資料⑨「夏休み親子の集いについて（体験の風）」の説明

〈質疑なし〉

議題（８）	今後の運営委員会スケジュールについて
-------	--------------------

西形 ○資料⑩「今後の会議スケジュールについて」の説明

〈質疑なし〉

9 その他

〈質 疑〉

大作 今子どもたちは少年自然の家をどのように呼んでいるのか。ネーミング、愛称があると愛着が湧くのではないか。

宮本 開所るとき交流した子どもも含め、今も昔も「館岩」へ行くという風に思っている。ずっと伝え聞いている。昨年度改修工事の時期も南郷に行くときでも、「館岩に行く」と「言っている。ほとんどの子が親元を離れて初めての宿泊で不安もあるかと思う。本校はまだ行っていないが、盛り上がっている。学校では自然の家の歌も聞こえてくる。キャンプファイヤーのダンスの練習も熱心に行っている。

大作 ネーミング、館岩のために盛り上がっているということで、連れて行っている先生方から生の声を聞いた。事務局としてやるべきことはやっているが、初めて運営委員会に出ている人にとっては、資料を見ただけではわかりにくい。学校の先生からの意見を聞くとよく分かつ

た。たていわ通信、市報など、仕事柄関わっていたが伝わってこなかった。もう少し PR をするということを提案する。

所長 館岩としても PR をしていきたいと考えている。体験の風をおこそう運動、今年度テレビ埼玉、埼玉新聞に掲載された。ホームページでも実際の活動を伝えていくようにしていく。テレビさいたまのマチコミでも、PR していただいている。5 年生に子どもがいるなど、関係している保護者はその場でわかるが、それ以外の方へも、例えば、家族の集いを宣伝することで PR をしている。学校にチラシも配っている。学校以外の方にとということについての広報活動についてはまだ工夫が必要。今年度 PR のために YouTube を活用した。今後子どもたちの活動をより PR できるようにしたい。今回のような意見をいただきありがたい。

宇田川 館岩の 4 文字だけであの施設が浮かんでいる。南会津ではなく館岩。それだけで印象に浮かぶそう。強いインパクトがある。その施設の運営がうまくいくように、というのがこの運営委員会の使命であると考えている。

10 閉 会 15 時 00 分